

JBUGコミュニティ運営視点のファシリテーション ~東京運営のおっさんたちの奮闘~

JBUG 東京運営チーム 西馬 一郎 @beppu01
2019年07月03日 DevRel/ファシリテーション

自己紹介(西馬 一郎 ニシウマ イチロウ)

西からきた馬ヅラの男

日経電子のバーンの
エンジニア

社内DevRel、技術広報
エンジニア採用

JBUG東京運営リーダー



Japan Backlog User Group

1. プロジェクト管理ツールBacklogを使い、うまく仕事を回す方法をユーザー同士が共有
2. プロジェクトマネジメントに関する知見の共有
3. 実体験から学んだ知見やノウハウのシェア



@jbugofficial

JBUG公式キャラクター
ジェイビー

きょうお話したいこと

コミュニティ運営、JBUGが大事にしている価値観

JBUG運営チームをうまく回すためのファシリテーション

コミュニティ運営、3つのファースト

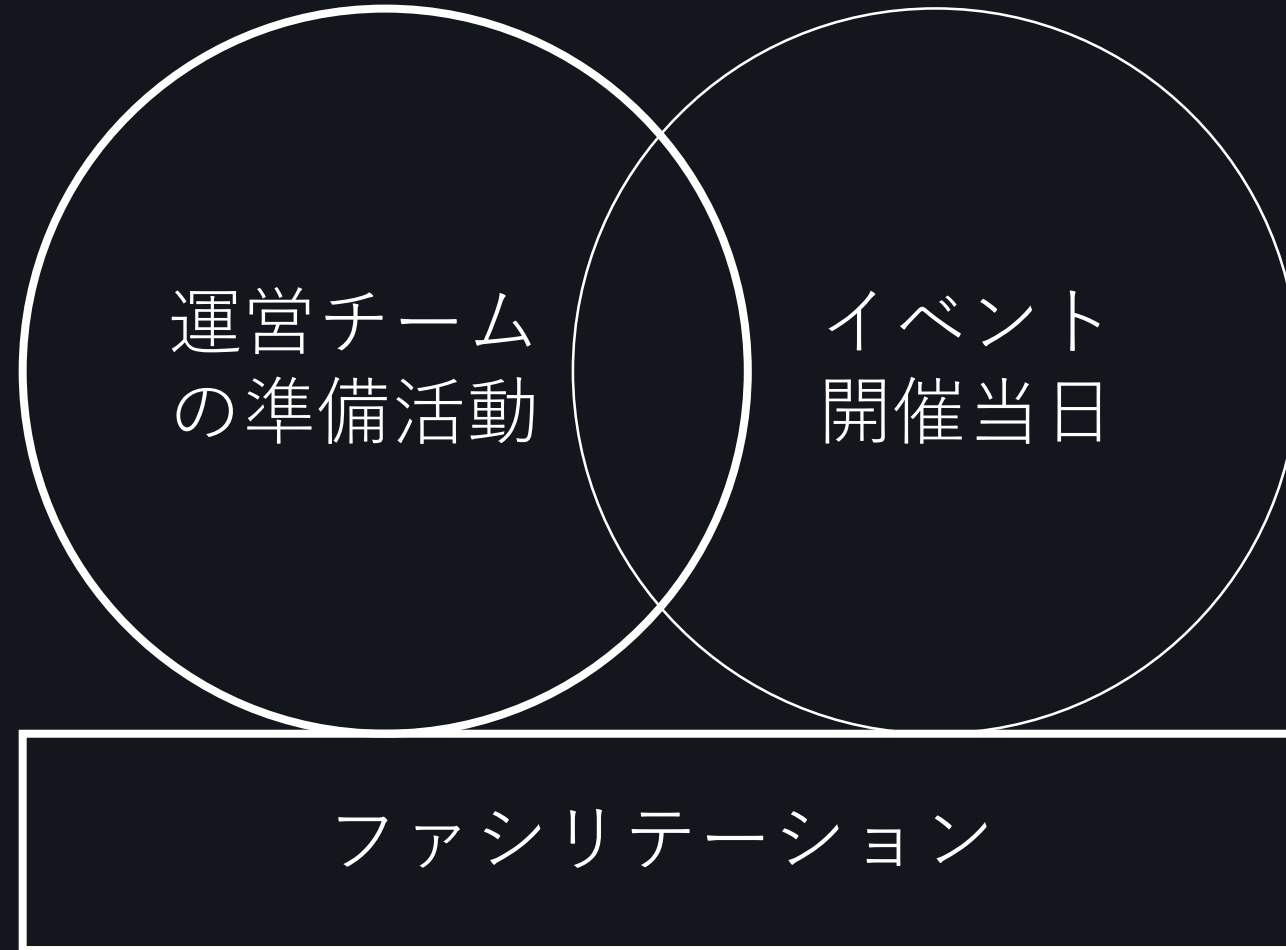
コミュニティにおけるファシリテーション

関心軸でつながりながら

仲間と共に学び

モノごとをうまく進める

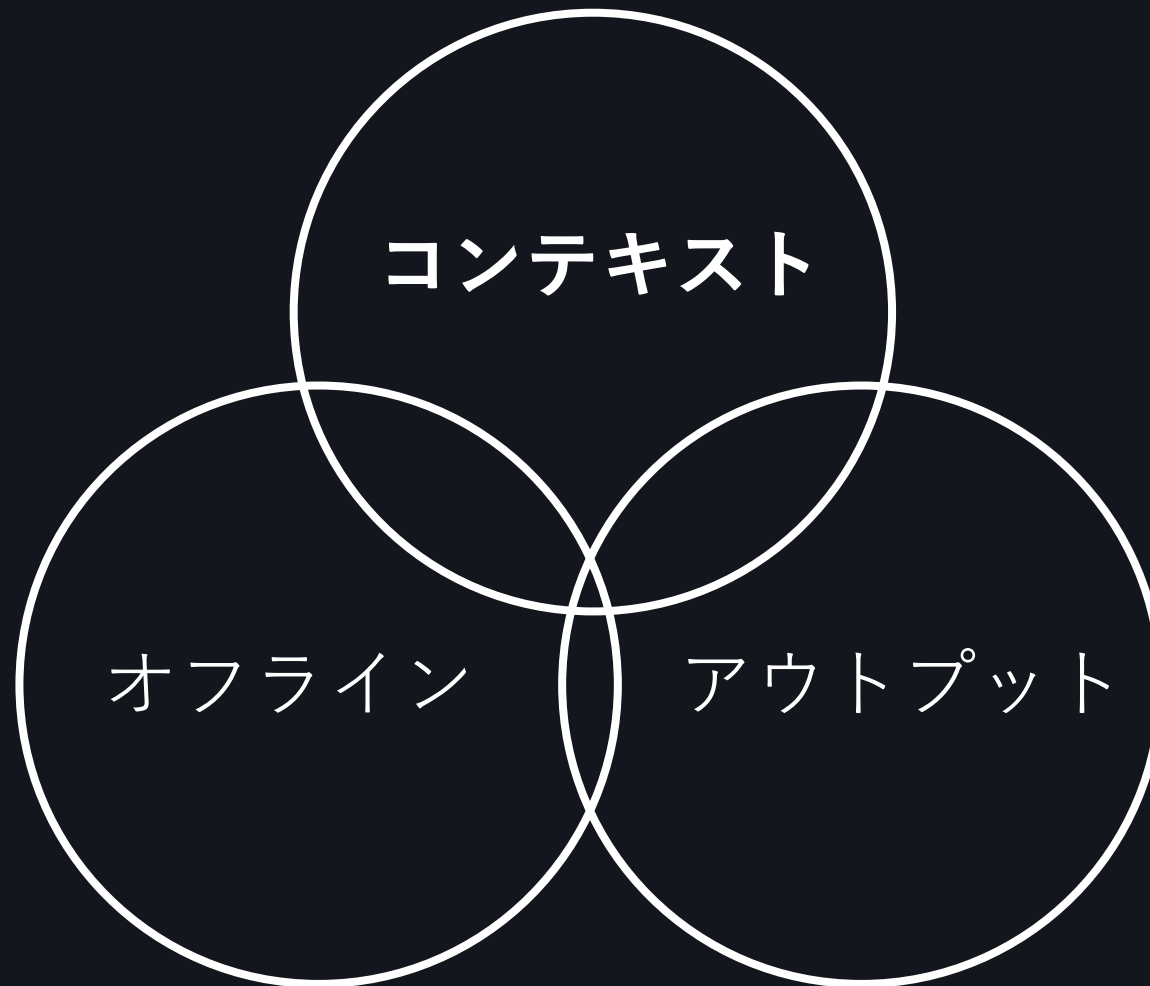
運営チームの活動をメインで話します



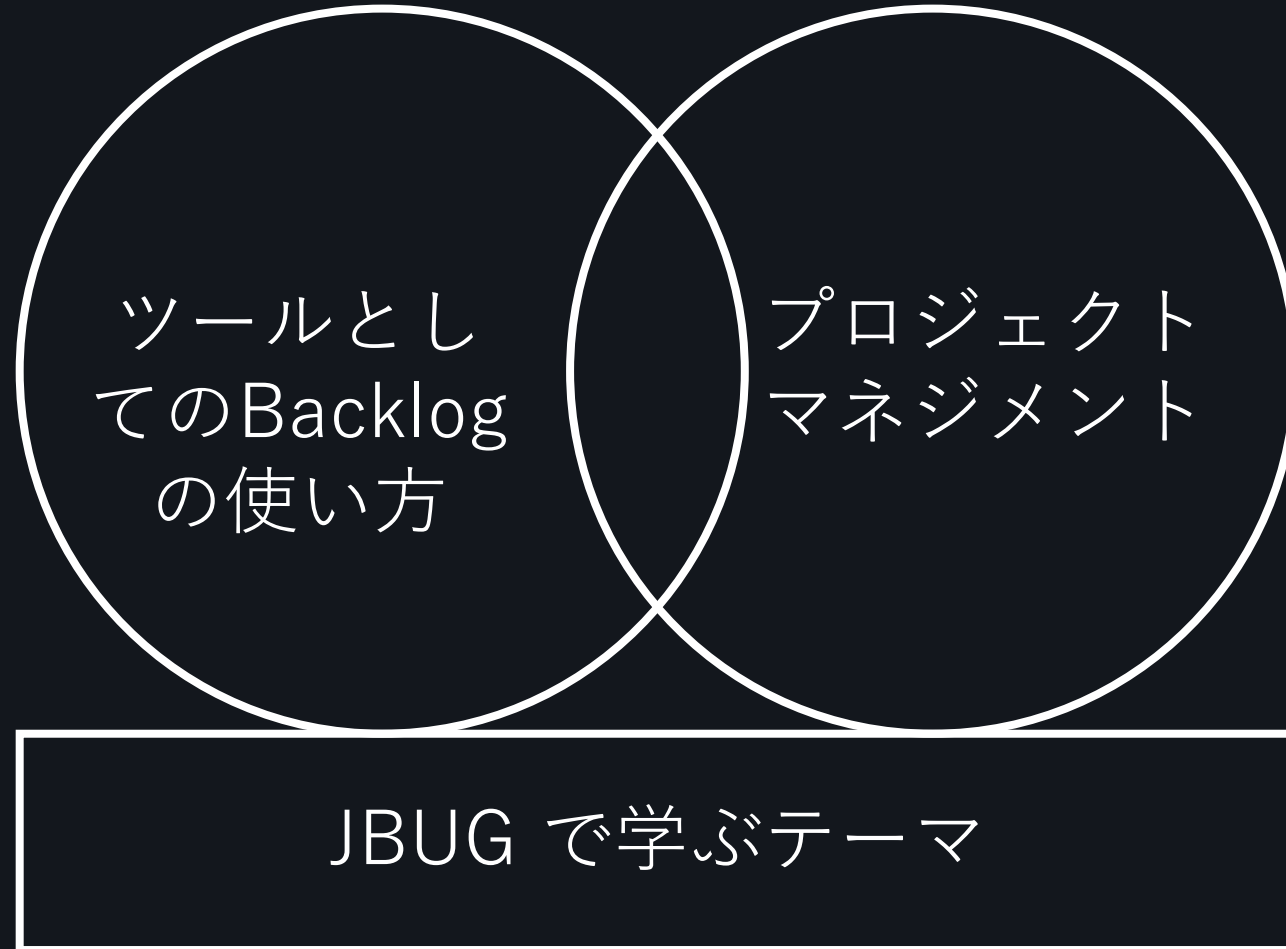
JBUGが大事にしている価値観

1. 「プロジェクトマネジメント」という、とっつきにくい小難しいモノを簡単にできるようにするにはどうすればいいか
→プロジェクトマネジメントの民主化
2. 仕事をうまく円滑に進めるためのコツを学ぶ
→プロジェクトマネージャーは役割の1つ
3. 勉強会はツールとしてのBacklogにとらわれない
→Backlogのバの字もでない勉強会もあり

コミュニティ運営3つのファースト



JBUGのテーマは2軸



コミュニティは発展期、運営チームは**自走**へ第一歩

#JBUG コミュニティの良いところ
「発展フェーズ」における取り組み

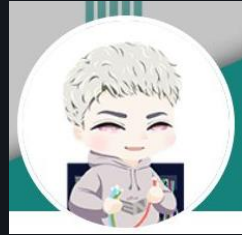
JBUG 東京運営チーム 西馬 一郎
2019年04月23日

- 東京運営チームは自走に向けて
進み始めたところ

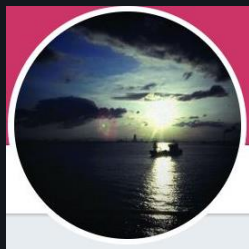
2019/4/23 DevRel/Community #2

JBUG東京運営チームの体制の変化

～2018年 コミュニティマネージャと立ち上げメンバーとサポート



2019年～ ユーザー主体 運営チームが確立



運営チームで変えたこと

1. 勉強会の開催場所を毎回変える
2. 先に日程を決めてから登壇者と場所を探す
3. イベント開催中に次回の開催告知(日程・場所)
4. チームで動く
5. 役割分担タスク平準化
6. 年間計画を立てる 年次カンファレンス
BacklogWorld2020に向けて盛り上げていく



運営チームの課題 道半ばなこと

1. 登壇者を探すのが大変
 1. 公募で申し込み多数という状態にはなっていない
 2. 懇親会で声かけ
2. 担当を毎回チェンジしていく

運営リーダー/実行委員長の役割って？

1. 論点整理・合意形成に向けた交通整理 コンテキスト合わせ
2. うちあわせのアジェンダを作る
3. リーダーが(ある程度意見がでたところで)決める
4. 手を挙げてもらう雰囲気作り

運営リーダー・カンファレンス実行委員長の皆さんってどうされてますか。どんなお仕事、役割ですか

運営チームのPDCA

- P JBUGイベントの準備
 - D 開催
 - C 振り返り Backlogで各自KPT/YWT、アンケートまとめ
 - A 運営チーム打ち上げ 兼 次回打ち合わせ
- その間は、typetalkで常に会話している状態

本業が大変なときは予め言う

#本業コミットが大事

JBUG東京の手応え、アウトプットファースト

- サイトオープンしてからの初速がアップ
参加者数は追わない 50~60人
- アウトプット ツイート数 (togetterまとめより)

JBUG#8	238ツイート	400+view
JBUG#9	277ツイート	700+view
JBUG#10	412ツイート	1800+view

イベント当日のファシリテーション

1. 来場の際のご挨拶 元気よく
2. 参加者1人1人 自己紹介タイム
3. 参加者アンケート
4. bの決めポーズで集合写真
5. 場所を変えて懇親会
6. 各地の#JBUG er から応援ツイート



まとめ

コミュニティ運営、JBUGが大事にしている価値観

JBUG運営チームをうまく回すためのファシリテーション

コミュニティ運営、3つのファースト

コミュニティ運営におけるファシリテーション

関心軸でつながりながら

仲間と共に学び

モノごとをうまく進める

電子のバァアーンもDevRelチーム活動中

1. 中の人5名で活動、半年経過
2. エンジニアのキャリアパス検討
3. 共に切磋琢磨し学び合う 社内ISUCON、勉強会開催
4. 開発者体験(Developer eXperience)の向上

日経はエンジニアの仲間を募集中

Backlog World 2020 運営スタッフ募集は7月から

